

2023年
No. 1805
2月5日
(令和5年)
月3回
5・15・25日発行

発行所
株式会社 エアゾール産業新聞
東京都千代田区神田淡路町1-1
神田クレストビル
電話東京(3253)1941(代)
ファックス番号東京(3253)1944
編集発行人 小林和歌子
購読料 年間24,200円(前納)
振替口座00170-5-100345

エアゾール&受託製造 産業新聞

化粧品 医薬品 医薬部外品 食品
家庭用品 自動車用品 工業用品

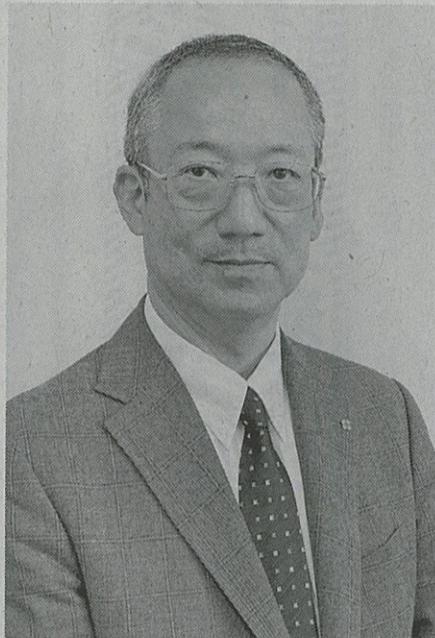
昭和42年6月8日第3種郵便物認可

エアゾール&受託製造産業新聞

2023年(令和5年)2月5日(日曜日)

(4)

サステナビリティ経営前面に コスメサイエンス社長語る



代表取締役社長
荒町公一 氏

エコバディス獲得武器に

CO₂削減、詰め替えパウチ顧客PRで受注開拓へ

ホッカングループの化粧品OEM企業である「コスメサイエンス」の荒町公一社長は1月18日、東京・渋谷にて縦横に語った(聞き手は川口副編集長)。

本社で本紙のインタビューに応じ、同社の近況や現在推進している環境対応などのサステナビリティ活動について縦横に語った(聞き手は川口副編集長)。

化粧品受託製造産業欄

容器・機械各社と連携 ホッカングループの総合力で
に比べ既存のクライアントの新製品・リニューアル依頼が増加傾向にあるほか、新規開拓も徐々に進み始めている。コロナ禍前の水準には達しないものの、今年の3月期決算の売上高は5%

—コロナ禍が一定の落ち着きを見せる中で、化粧品OEM業界でも受注の活性化が肌感覚としても感じられるようになってきたが、貴社の状況は、

—貴社は昨年9月、国際的なサステナビリティ評価の一つである「ECQVADIS(エコバディス)」で上位25%にあたるシルバーメダルを獲得した。

「エコバディスのメダル獲得に至った経緯としては、まず、ホッカングループ全体として外部認証評価の取得推進を含めたサステナブル活動に注力していることが背景にある。さらに当社は国内の複数の企業から環境対応をはじめとした当

エコバディス活動は今後もさらに推進し、来年度は上位5%にあたる「ゴールドメダル」取得を目指している」とは。

「現在、特に力を入れていることはCO₂など温室効果ガス削減をはじめとする環境対応の部分である。ホッカングループでは2030年目標として、温室効果ガスを2019年度比で約15%の削減、スコープ1(※編集部注)、スコープ2(同・他社から供給される電気、熱、蒸気の使用による間接排出)、スコープ3(同・他社から供給される電気、熱、蒸気の使用による間接排出)の30%削減、スコープ3(同・スコープ1、2以外の間接排出)

む企業は多いと感じていた。そうした状況の中、単に活動するだけではなく、国際的な評価を得ることができれば、より安心感を持つ

クライアントから仕事を任せてくれると思った。今回メダル獲得は、他のOEM企業との差別化に繋がることはもちろんだが、工場設備更新の際に工事を見ながら互いに評価し仕事ができるメリットもあると考えている。サステナ

ビリティ活動は、企業同士、同じ項目で物事を見ながら互いに評価し仕事ができるメリットもあると考えている。サステナ

ビリティ活動は、企業同士、同じ項目で物事を見ながら互いに評価し仕事ができるメリットもあると考えている。サステナ